

競技上の諸注意

1 競技規則

本大会は、平成31年度(公財)日本ハンドボール協会競技規則により行う。

2 競技時間

- (1) 男女関東クラブ・社会人選手権とともに、6／29日（土）の試合はすべて25分－（10分）－25分で行う。同点の場合は第1延長まで行い、その後は7mTC（5人）とする。
6／30日（日）のクラブ選手権決勝戦「g」「G」の試合は、25分－（10分）－25分で行う。同点の場合は第1延長まで行い、その後は7mTC（5人）とする。社会人選手権女子「ク」および決勝戦「キ」「き」は、30分－（10分）－30分とし、同点の場合は第2延長まで行い、その後は7mTC（5人）とする。
- (2) 全会場とも加算式の電光掲示板を使用する。
- (3) 競技終了の合図はブザーまたは笛で行う。
- (4) 退場者については、退場者電光掲示板で番号と退場時間を表示する。表示が「0：00」になれば入場できる。記録席からの指示はしない。
- (5) 電光掲示板に表記するチーム名・得点は1試合を通して左右の変更はしない。
- (6) 試合は開始時刻通り行う。

3 大会使用球

(公財)日本ハンドボール協会の検定球を使用する。

男子はモルテン(H3X5001-BW)、女子はミカサ(HB2000)を使用する。

4 競技会場

- (1) 館内は必ず体育館シューズを使用し、外履きとの区別をはっきりすること。
- (2) 両面テープのみ使用可。（黒色両面テープ使用不可）松やに・松やにスプレー等の使用は禁止する。また、松やにの付いた練習球も使用不可とする。
- (3) アップは、各会場のごとに指定の場所で行うこと。

5 トス・ユニフォームの確認等

- (1) 第1試合のトスは試合開始の30分前に行う。第2試合以降は前試合のハーフタイムに行う。
- (2) ユニフォームは濃・淡2色を用意する。
- (3) ユニフォームの確認はトスの時に行う。ユニフォームはすべて持参すること。
- (4) 役員・選手は、トス時に(公財)日本ハンドボール協会登録証を提出し、試合前に審判員から本人の確認を受ける。なお、登録証には写真を必ず添付すること。

6 参加資格等

- (1) ベンチは役員4名、選手16名までとする。役員登録されていないトレーナーについては、指定場所で待機すること。ベンチ・コート内には入れない。
- (2) ベンチに入る役員には、オフィシャルよりIDカードを配布する。また、監督は「A」のIDカードをつけること。
- (3) チーム責任者は試合開始前に、役員名及び選手名と背番号が正しく記載されていることを確認してサインする。

7 裁定委員会及びTD

- (1) 本大会に裁定委員会を置き、競技委員長・競技副委員長・審判長・副審判長・その他大会役員関係者をもって委員会を構成する。必要があれば関係者（当該チームの選手を含む）を同席させる場合もある。
- (2) 裁定委員会は、本大会において発生したすべての問題について審議し、その対応を決定する機関である。
- (3) 本大会は全ての試合に、MO1名及びTD2名を置く。

8 諸注意

- (1) 競技中、交代地域でのボール使用は一切禁止する。ボールはケース等に収納しなければならない。
- (2) コールドスプレー等は、けが等で使用する以外はバッグ等に収納しておくこと。
- (3) ビデオ撮影時は、体育館の電源の使用を禁止する。
- (4) 体育館の使用に際しては、各都県代表選手としての自覚と誇りを持ち、マナー違反のないよう行動すること。
- (5) 車は定められた駐車場に駐車し、路上駐車などは絶対にしないこと。
- (6) 試合終了後、選手はコート上横1列に並び挨拶をし、相互に相手ベンチ前へ移動すること。

9 その他

- (1) 開閉会式・代表者会議には、式典にふさわしい服装で参加すること。
- (2) 通過認定証について
 - ・代表決定戦の勝利チームに通過認定証を授与する。
 - ・認定証の授与は試合終了後、コートのオフィシャル席前で行う。
 - ・当該チームはオフィシャル席前に横一列で並び、通過認定証を受領する。